

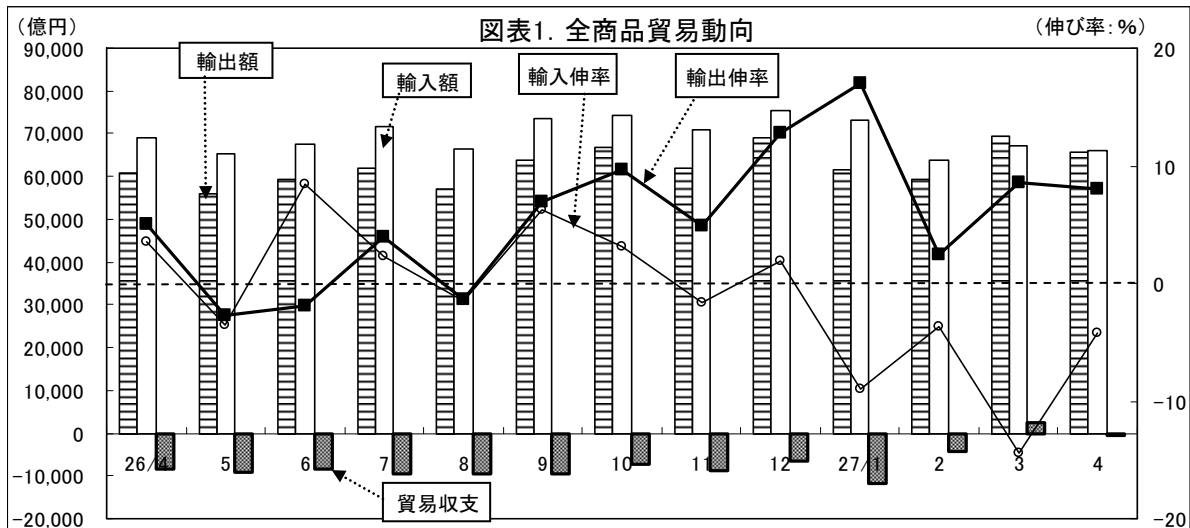
最近の機械貿易動向(4月)～機械輸出伸び率8ヶ月連続でプラス～

日本機械輸出組合 2015.6.18.

平成27年4月の機械輸出額は4兆1,462億円、対前年同月比6.3%増と、8ヶ月連続でプラス成長となった。これは、①ドル高が進んだこと、②6地域向け全てがプラスとなったこと、③機械輸出額の約35%を占める自動車をはじめ、産業機械、電子デバイス等がプラスになったことなどによる。為替要因が8.6%の増加要因だったことを考慮すると、実質的な伸び率は2.1%減と3ヶ月連続でマイナスとなった。5月は為替・営業日要因を考慮すると2.2%の減少要因となったが、6月17日発表の貿易統計速報による簡易計算では5月の機械輸出は2.1%増であった。

1. 全商品貿易動向～輸出は8ヶ月連続でプラス、貿易収支は再び赤字へ～

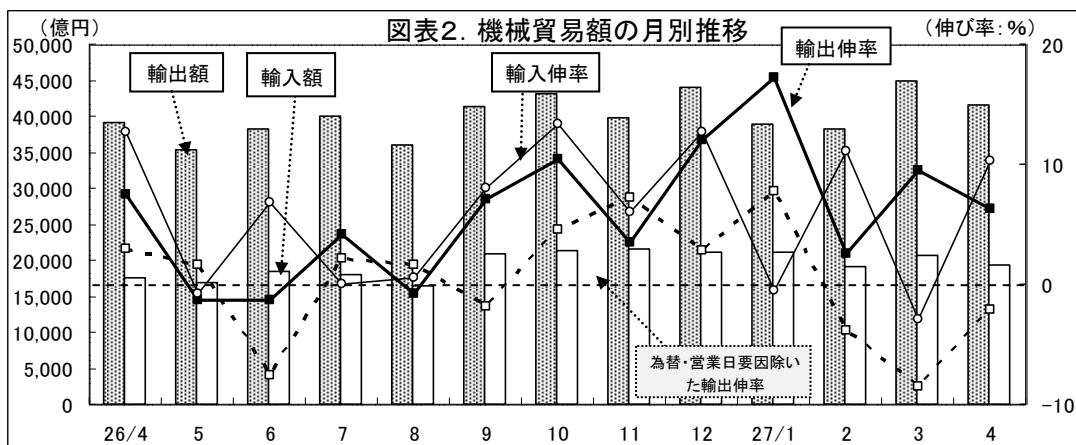
- 平成27年4月の全商品輸出額は**6兆5,502億円**、前年同月比(以下同じ)**8.0%増**と8ヶ月連続でプラス成長となった(3月8.5%増)。これは、全輸出額の約17%を占める電気機器(9.0%増)や、23%の自動車等輸送用機器(5.8%増)、19%の一般機械(4.9%増)等が増加したためである。
- 輸入額は**6兆6,060億円**、**4.2%減**と4ヶ月連続でマイナスとなった(3月14.5%減)。これは、全輸入額の約14%を占める電気機器(9.6%増)、10%の鉄鋼・非鉄金属等原料別製品(8.7%増)は増加したものの、約24%を占める原粗油等鉱物性燃料(29.1%減)が原油価格下落で大幅に減少したことによる。
- この結果、輸出額から輸入額を差し引いた貿易収支は、558億円の赤字となった(3月は2,274億円の黒字)。



2. 機械貿易動向

(1) 機械輸出入動向～輸出は8ヶ月連続でプラス、輸入も再びプラスへ～

- 全商品輸出額の約63%を占める4月の機械輸出額は**4兆1,462億円**、**6.3%増**と8ヶ月連続で拡大し(3月9.5%増)、輸出額の水準は、リーマンショック前(2008年4月)と比べると**88.3%**となり、前月に比べて2.7ポイント改善した(3月85.6%)。
- 一方、全商品輸入額の約29%を占める機械輸入額は、**1兆9,276億円**、**10.2%増**と再びプラスとなった(3月3.0%減)。リーマンショック前(2008年4月)の水準と比較しても27.0%増となっている。

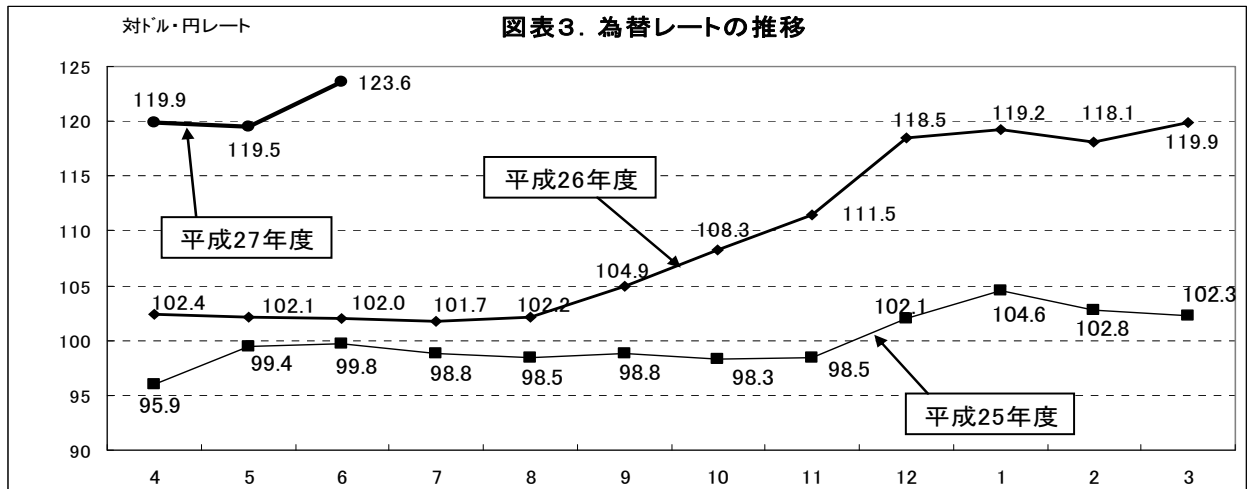


(2) 為替動向・営業日～4月は8.6%の増加要因、5月は約2.2%の減少要因～

1) 4月は1ドル=119.9円となり、前年に比べ17.1%の円安となった。また、対ユーロは129.2円と前年に対して8.6%の円高となり、合わせて約8.6%の為替増加要因となった。営業日は前年と同じため、合計で約8.6%の増加要因となる。4月の輸出額は6.3%増であったことから、実質的伸び率は2.1%減と3ヶ月連続のマイナスとなった(3月8.6%減)。

2) 5月は1ドル=119.5円で前年比17.0%の円安、対ユーロでは132.5円で前年比6.2%の円高となり、合わせて約8.7%の為替増加要因となった。営業日は前年より2日少ないため、10.0%の減少要因となり、合計で約2.2%の減少要因となる。

3) 6月は、対ドルが6月17日17:00時点の123.6円とすれば、前年に比べて21.2%の円安、また、対ユーロは139.3円で0.3%の円安となり、合わせると約11.4%の為替増加要因となる。営業日は前年より1日多いため、4.8%の増加要因となり、合計で約16.7%の増加要因となる。



(3) 地域別動向～2ヶ月連続で全地域向けがプラス、北米、ASEAN・南アジア向けが二桁増～

1) 機械輸出額の地域的動きをみると、最も伸びたのが、①26.1%を占める最大輸出先の北米向けで、全体の50%を占める自動車(13.8%増)をはじめ、産業機械(12.1%増)、航空機部品(19.7%増)等が増加して13.7%増となった。②次に伸びたのは、15.7%を占めるASEAN・南アジア向けで、ベトナム(94.2%増)、インド(42.3%増)、パキスタン(20.6%増)、シンガポール(16.5%増)等が大幅に増加し、業種では、全体の24%を占める自動車(10.9%増)に加え、電子デバイス(12.4%増)、工作機械(73.7%増)等が増加して11.9%増となり、③9.4%の韓国・台湾向けは、自動車(10.2%増)、産業機械(6.0%増)、軽電気機械(11.3%増)、軽機械(27.9%増)等が増加して6.7%増となった。④17.9%を占めるその他地域向けは、ロシア東欧等(14.2%減)向けが7ヶ月連続でマイナスとなったものの、中南米(8.2%増)、中近東(6.5%増)等向けがプラスとなり、機種では船舶(14.1%減)が大きく減少したものの、全体の62%を占める自動車(1.6%増)、産業機械(21.0%増)等が増加して1.2%増となり、⑤20.2%の中国向けは、全体の14%を占める自動車(15.4%減)や産業機械(5.0%減)が減少したものの、電子デバイス(17.4%増)、軽電気機械(7.5%増)、重電気機械(9.2%増)等が増加して1.1%増となった。⑥10.8%のEU向けでは、産業機械(1.9%減)がマイナスとなったものの、31%を占める自動車(2.2%増)をはじめ、軽機械(11.0%増)等が増加して0.5%増となった。

2) また、リーマンショック前の2008年4月の地域別輸出額と比較すると、ASEAN・南アジアと北米向けが100%を超えたものの、中国向けが90%台、韓国・台湾、その他地域向けが80%台、EU向けが50%台となった。

図表4. 最近の地域別機械輸出動向

(単位: 億円)

	2015/2			2015/3			2015/4			対08年 4月比
	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	金額	伸び率	シェア	
全世界計	38,284	2.5	100.0	44,986	9.5	100.0	41,462	6.3	100.0	0.88
北米	10,154	13.9	26.5	11,475	21.7	25.5	10,802	13.7	26.1	1.01
中国	6,631	▲15.6	17.3	8,759	0.5	19.5	8,370	1.1	20.2	0.99
ASEAN・南アジア	6,211	▲15.4	16.2	7,145	16.9	15.9	6,504	11.9	15.7	1.04
EU	4,441	2.7	11.6	4,848	5.9	10.8	4,485	0.5	10.8	0.57
韓国・台湾	3,416	▲0.8	8.9	4,321	8.8	9.6	3,879	6.7	9.4	0.83
その他	7,431	0.3	19.4	8,438	1.8	18.8	7,423	1.2	17.9	0.82

は、2ヶ月連続で前年比10%以上プラス。

図表5. 韓国・台湾/ASEAN・南アジア/その他地域向け機械輸出の推移(月別)

(金額単位:億円、%)

国名	2015/1		2015/2		2015/3		2015/4	
	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率	金額	伸び率
韓国	1,947	32.3	1,847	2.0	2,289	12.3	2,021	11.1
台湾	1,681	10.5	1,569	▲ 3.9	2,031	5.1	1,858	2.3
ASEAN・南アジア								
タイ	1,661	19.0	1,677	7.4	1,740	1.1	1,566	▲ 2.5
シンガポール	1,043	39.8	959	9.2	1,242	28.1	1,024	16.5
インドネシア	650	▲ 14.2	762	0.7	903	5.6	776	▲ 14.9
マレーシア	644	10.4	728	8.1	824	2.8	764	4.6
フィリピン	569	27.2	593	15.6	722	36.0	626	3.3
ベトナム	720	125.4	720	77.1	765	58.0	846	94.2
インド	336	6.1	371	17.0	490	13.5	442	42.3
パキスタン	86	18.1	110	13.2	150	78.1	133	20.6
その他地域								
中南米	1,977	5.1	2,442	5.3	2,742	3.1	2,465	8.2
中近東	1,715	5.4	2,120	14.7	2,490	19.0	2,140	6.5
大洋州	1,205	11.8	1,167	8.3	1,193	▲ 8.3	1,132	1.6
ロシア東欧等	978	▲ 26.7	1,024	▲ 25.1	1,002	▲ 31.2	1,054	▲ 14.2
アフリカ	950	55.9	685	▲ 15.8	954	32.4	655	0.3

は、2ヶ月連続で前年同月比プラス(10%以上)

(4)業種別動向～21業種中マイナスは5業種、電子デバイス等6業種が二桁の伸び～

- 1)業種別では、全21業種中5業種がマイナスとなり、前月より3業種増加した。業種では、全体の約35%を占める自動車(5.3%増)が5ヶ月連続でプラスとなり、17%の産業機械(5.7%増)が8ヶ月連続、8%の電子デバイス(11.7%増)が9ヶ月連続のプラスとなり、この他、民生用電子機械(10.2%増)、工作機械(28.5%増)、航空機部品(30.7%増)、通信機械(12.4%増)、医療機械(14.9%増)が二桁の成長となった。
- 2)この結果、リーマンショック前の水準を超えたのは航空機部品、工作機械、軽機械、ベアリング、医療機械、光学機械、重電気機械の7業種で前月より2業種減少し、他方、電子計算機、民生用電子機械が40%台、鉄道車両、産業車両が50%台の低い水準にある。

図表6 上位21業種の輸出額の動き

(単位:億円、%)

業種名	2015/2			2015/3			2015/4			対08/4比		
	金額	伸び率	シェア	業種名	金額	伸び率	シェア	業種名	金額		伸び率	シェア
自動車	13,637	4.9	35.6	自動車	14,879	9.1	33.1	自動車	14,511	5.3	35.0	0.88
産業機械	6,729	1.2	17.6	産業機械	8,191	9.8	18.2	産業機械	7,051	5.7	17.0	0.96
電子デバイス	2,939	10.4	7.7	電子デバイス	3,275	12.7	7.3	電子デバイス	3,270	11.7	7.9	0.87
軽電気機械	1,902	0.9	5.0	重電気機械	2,249	3.6	5.0	重電気機械	2,192	8.5	5.3	1.08
重電気機械	1,834	0.5	4.8	軽電気機械	2,190	4.5	4.9	軽電気機械	2,171	5.2	5.2	0.86
軽機械	1,451	1.1	3.8	船舶	2,042	10.1	4.5	軽機械	1,692	7.5	4.1	1.23
民生用電子機械	1,362	2.5	3.6	軽機械	1,712	10.6	3.8	民生用電子機械	1,612	10.2	3.9	0.49
光学機械	1,296	▲ 1.7	3.4	民生用電子機械	1,540	▲ 2.2	3.4	光学機械	1,368	▲ 3.0	3.3	1.12
船舶	1,289	▲ 27.2	3.4	光学機械	1,531	3.6	3.4	船舶	1,187	▲ 5.5	2.9	0.66
建設機械	990	9.9	2.6	建設機械	1,299	11.8	2.9	建設機械	1,020	▲ 6.9	2.5	0.68
工作機械	868	17.2	2.3	工作機械	1,209	32.9	2.7	工作機械	990	28.5	2.4	1.28
航空機部品	743	22.5	1.9	航空機部品	850	20.7	1.9	航空機部品	897	30.7	2.2	2.39
通信機械	508	8.5	1.3	通信機械	644	21.6	1.4	通信機械	614	12.4	1.5	0.73
電子計算機	476	17.6	1.2	医療機械	575	21.8	1.3	電子計算機	449	7.0	1.1	0.46
医療機械	439	19.0	1.1	電子計算機	551	11.2	1.2	ベアリング	435	3.1	1.0	1.22
ベアリング	402	3.9	1.1	ベアリング	455	14.1	1.0	医療機械	412	14.9	1.0	1.14
陸用内燃機関	356	▲ 5.0	0.9	陸用内燃機関	424	3.1	0.9	陸用内燃機関	390	6.5	0.9	0.90
繊維機械	178	▲ 42.0	0.5	農業機械	248	35.4	0.6	農業機械	191	7.0	0.5	0.80
農業機械	177	8.5	0.5	繊維機械	190	▲ 37.5	0.4	繊維機械	160	▲ 26.8	0.4	0.63
産業車両	119	▲ 5.9	0.3	産業車両	130	1.8	0.3	産業車両	136	▲ 4.5	0.3	0.57
鉄道車両	34	▲ 31.1	0.1	鉄道車両	128	192.0	0.3	鉄道車両	49	8.9	0.1	0.57
21業種合計	37,729		98.5	21業種合計	44,312		98.5	21業種合計	40,795		98.4	0.88

は2ヶ月以上連続で10%以上増加。・産業機械:半導体製造装置、印刷・製本機械、風水力機械、タービン
 ・民生用電子機械:デジタルカメラ、TV、部品 ・電子計算機:パソコン、HDD、プリンター等部品 ・軽機械:試験・検査機、理化学用機器
 ・軽電気機械:白物家電、電子計測器、配電機器、電池 ・光学機械:その他の光学機器(半導体検査装置、レーザー等)、カメラ部品
 ・通信機械:通信機械部品、受信変換・その他送受信

(5) 機種別動向～発電機、TV、原動力機械、通信機械部分品等大幅増、繊維機械等大幅減～

1) 10%以上の伸び率を示した機種は、①その他地域向け**発電機**(48.2%増)、②北米、EU向け**TV**(40.5%増)、③その他地域、北米、ASEAN・南アジア向け**原動力機械**(39.9%増)、④中国向け**通信機械部分品**(36.8%増)、⑤北米向け**航空機部品**(30.7%増)、⑥ASEAN・南アジア、中国、北米向け**工作機械**(28.5%増)、⑦北米、ASEAN・南アジア向け**磁気カード・ディスク等**(19.2%増)、⑧その他地域向け**貨物自動車**(16.9%増)、⑨北米、中国、韓国・台湾向け**電動機**(16.9%増)、⑩北米、EU向け**医療機械**(14.9%増)であった。

2) 一方、最も落込み幅が大きいのが、繊維機械(26.8%減)、受信変換・その他送受信(15.3%減)、金属加工機械(13.4%減)等であった。

図表7. 伸び率上位機種(月50億円以上、前年比伸び率10%以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2015/2			2015/3			2015/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
通信機械部分品	223	29.0	鉄道車輛	128	192.0	発電機	138	48.2
航空機部品	743	22.5	通信機械部分品	286	37.5	TV	118	40.5
医療機械	439	19.0	農業機械	248	35.4	原動力機械	525	39.9
電子計算機	476	17.6	工作機械	1,209	32.9	通信機械部分品	295	36.8
工作機械	868	17.2	電動機	177	23.3	航空機部品	897	30.7
貨物自動車	897	13.6	受信変換その他送受信	181	22.0	工作機械	990	28.5
その他の配電制御装置	812	13.3	医療機械	575	21.8	磁気カード・ディスク等	174	19.2
受信変換その他送受信	131	13.1	産業用ロボット	168	21.5	貨物自動車	1,000	16.9
電池	212	10.5	航空機部品	850	20.7	電動機	163	16.9
電子デバイス	2,939	10.4	金属加工機械	415	20.6	医療機械	412	14.9
機種合計	7,740	* 20.2%	機種合計	4,237	* 9.4%	機種合計	4,712	* 11.4%

は、2ヶ月連続で上位機種 * 機種合計の%は輸出額に占める割合
 通信機械部分品: ゲートウェイ、リピーター等 受信変換・その他送受信: ルーター、LANスイッチ等
 理化学用機器: 物理・化学分析用機器の部品、電気式分析機器等 電動機: 業務用モーター
 その他の光学機器: レーザー、半導体検査装置等 その他の重電機器・部分品: 重電機器部分品、交通管制用機器
 作成方法: 最終月をコピーして、右に移動し、タイトル、注を右に移動する。合計%の分母直す

図表8. マイナス伸び率上位機種(月10億円以上、10%減以上、10機種以内) (単位: 億円、%)

2015/2			2015/3			2015/4		
機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率	機種名	金額	伸び率
繊維機械	178	▲ 42.0	繊維機械	190	▲ 37.5	繊維機械	160	▲ 26.8
発電機	92	▲ 31.7	デジカメ・ビデオ	339	▲ 26.0	受信変換その他送受信機器	138	▲ 15.3
鉄道車輛	34	▲ 31.1	その他の重電機器・部分品	498	▲ 13.9	金属加工機械	278	▲ 13.4
船舶	1,289	▲ 27.2	機種合計	1,027	* 2.3%	機種合計	576	* 1.4%
半導体製造装置	1,187	▲ 13.6						
その他の重電機器・部分品	427	▲ 12.2						
機種合計	3,207	* 8.4%						

は、2ヶ月連続でマイナス上位10位内 * 機種合計の%は輸出額に占める割合

(6) 機械輸入動向～携帯電話、航空機・部品等が大幅増～

1) 4月の機械輸入伸び率は10.2%増と再びプラスとなった。輸入上位機種の電子計算機(10.7%減)が大きくマイナスとなったものの、他の輸入上位機種の電子デバイス(6.1%増)、携帯電話(21.0%増)や航空機・部品等(61.6%増)等が大きくプラスとなったことによる。

2) なお、輸入額が輸出額を上回っている機種は電子計算機、携帯電話、航空機・部品等、白物家電、医療機械、受信変換・その他送受信、配電機器、時計、TVとなっている。

3) 地域別機械輸入額は、全体の41%を占める中国(2.8%増)、ASEAN・南アジア(14.1%増)、北米(35.0%増)、韓国・台湾(15.3%増)、EU(2.2%減)、その他地域(28.3%増)の順であった。

図表9. 機械輸入額上位12機種 (単位: 億円、%)

2015/2				2015/3				2015/4			
機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア	機種名	金額	伸び率	シェア
電子デバイス	2,406	14.4	12.6	電子デバイス	2,652	0.6	12.8	電子デバイス	2,424	6.1	12.6
電子計算機	1,919	▲ 4.6	10.0	電子計算機	2,047	▲ 21.9	9.9	電子計算機	1,825	▲ 10.7	9.5
携帯電話	1,178	3.6	6.1	携帯電話	1,416	▲ 11.5	6.9	携帯電話	1,226	21.0	6.4
自動車部品	1,140	23.9	5.9	自動車部品	1,180	11.1	5.7	航空機・部品等	1,158	61.6	6.0
航空機・部品等	718	▲ 4.3	3.7	乗用車	1,058	▲ 2.1	5.1	自動車部品	1,022	1.5	5.3
医療機械	695	0.6	3.6	航空機・部品等	1,050	▲ 1.1	5.1	白物家電	775	▲ 0.9	4.0
白物家電	686	15.5	3.6	医療機械	733	▲ 10.9	3.5	乗用車	739	0.8	3.8
乗用車	684	▲ 30.1	3.6	受信変換その他送受信	638	10.7	3.1	医療機械	641	30.4	3.3
受信変換その他送受信	560	9.7	2.9	白物家電	594	▲ 20.9	2.9	受信変換その他送受信	525	11.1	2.7
配電機器	540	23.5	2.8	配電機器	540	1.1	2.6	配電機器	524	5.8	2.7
その他の配電制御装置	375	43.7	2.0	その他の配電制御装置	400	18.1	1.9	その他の配電制御装置	404	24.9	2.1
風水力機械	338	28.0	1.8	風水力機械	351	13.7	1.7	コンデンサー等部分品	350	6.7	1.8
12機種合計	11,239		58.6	12機種合計	12,659		61.3	12機種合計	11,613		60.2

は対前年比が2ヶ月連続で10%以上増加。・白物家電: 民生用電気機械
 ・受信変換その他送受信: ルーター、LANスイッチ等 ・その他の配電制御装置: スイッチ、配電盤、制御盤等